

## 国立大学経営力戦略（概要）

### 1. 基本的考え方

- 我が国社会の活力や持続性を確かなものとする上で、**新たな価値を生み出す礎となる知の創出とそれを支える人材育成を担う国立大学の役割への期待**は大いに高まっており、「社会変革のエンジン」として「**知の創出機能**」を最大化していくことが必要。
- 国立大学は、法人化のメリットをこれまで以上に生かし、新たな経済社会を展望した**大胆な発想の転換の下、新領域・融合分野など新たな研究領域の開拓**、産業構造の変化や雇用ニーズに対応した**新しい時代の産業を担う人材育成、地域・日本・世界が直面する経済社会の課題解決**などを図りつつ、**学問の進展やイノベーション創出などに最大限貢献できる組織へ自ら転換**。
- 各国立大学は、
  - ・ **既存の枠組みや手法等にとらわれない大胆な発想で、学長がリーダーシップとマネジメント力を発揮し、組織全体をリードする将来ビジョンに基づく自己改革・新陳代謝**を実行
  - ・ **確かなコスト意識と戦略的な資源配分を前提とした経営的視点で大学運営を行うことで経営力を強化**。
- 大学共同利用機関法人は、**大学の枠を越えた分野のナショナルセンターとして、研究者コミュニティ全体、大学の機能強化及び社会への貢献を最大化させる役割**を果たすため、**経営力を強化**。
- 文部科学省は、基盤的経費である国立大学法人運営費交付金の水準を確保しつつ、**自己改革に取り組む大学等にメリハリある重点支援**を実施するとともに、必要な**規制緩和**を行う。

### 2. 具体的内容

#### (1) 大学等の将来ビジョンに基づく機能強化の推進

- ・ 各大学等の機能強化の方向性に応じた取組をきめ細かく支援するため、国立大学法人運営費交付金の中に**3つの重点支援の枠組みを新設**

#### (2) 自己改革・新陳代謝の推進

- ・ **機能強化のための組織再編、大学間・専門分野間での連携・連合**
- ・ 「**学長の裁量による経費（仮称）**」によるマネジメント改革
- ・ **意欲と能力のある教員が高いパフォーマンスを発揮する環境の整備**
- ・ **経営を担う人材、経営を支える人材の育成確保**

#### (3) 財務基盤の強化

- ・ **収益を伴う事業の明確化、寄附金収入の拡大、民間との共同研究等の拡大**

#### (4) 未来の産業・社会を支えるフロンティア形成

- ・ 「**特定研究大学（仮称）**」「**卓越大学院（仮称）**」「**卓越研究員（仮称）**」の創設

また、これらの大学改革を後押しするため、研究成果の持続的創出のための**競争的研究費改革**もあわせて実施。